

支援プログラム

事業所名

放課後等デイサービス リビアルプランキッズ

作成日

R6

年

9月

1日

事業所理念		「自立」を目標に、自分のペースで「できる」を増やすサポートをします。		
支援方針		個性を尊重して、日替わりで様々な活動を行い、興味・関心の幅を広げるサポートを行います。		
開所日	月～土	サービス提供時間	平日13:30～17:30 土祝・長期10:00～16:30	
定員	10名/日	送迎実施	有り。 中川区と隣接する区 事業所から20分以内を目安にお迎えに伺います。	
職員体制	常勤:4名 非常勤:5名 計9名	職員の質向上 (会議・研修等)	会議、研修:月1回以上 外部研修:3ヶ月に1回以上	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	健康状態の維持、状態の把握。 来所時の体温チェックと体調の把握。 荷物を自分のロッカーに入れて、手を洗い、着替える等、日常のルーティンを決める事で生活リズムを安定させる。 個別課題→ボタン留めはずし、ファスナーの開け閉め、ペットボトルのキャップ開け閉めなど。日常生活の動作練習も行う。クッキングを通して、食に対する関心を高める。将来の自立に向けて楽しく、技能を身につける。		
	運動・感覚	ヨガやダンス、感覚統合など運動を中心とした療育を通して、筋力維持・強化、姿勢の保持、集中力の向上を目指す。本人の過敏、鈍麻などの感覚を理解して、安心して過ごせる環境を提供します。→(聴覚過敏の児童には個室でイヤーマフで対応など)		
	認知・行動	ホワイトボードに1日のスケジュールを絵カードで貼り付けて、視覚にて分かりやすく提示。見通しが持てる環境づくりを行う。自由遊びのおわりや活動の始まりなど場面の切り替え時にはカウントダウンをすることで時間の認知に繋げる。		
	言語 コミュニケーション	手話や英語レク(外部講師を招いて)を通して楽しく、日本語以外のコミュニケーション方法を学ぶ機会を作る。言語が難しい児童にはそれぞれに合ったコミュニケーションが取れる様に支援する。具体的には絵カードやジェスチャーなどでの支援を行う。		
	人間関係 社会性	SSTを通して感情のコントロールを身につける。 順番を守る、ルールを守る、他人の良いところを探す、自分の長所を探す、など活動の中で社会性の向上を目指す。 複数人のグループで活動を行い、集団での自分の役割を見つけ「一人よりもみんなの方が楽しい」という経験を踏んでもらう。お出かけや他事業所とのコラボではスタッフ以外の大人と積極的に関わり、社会のルールやマナーを学ぶ機会を作る。		
家族支援	子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助。 学校や他事業所との情報共有。			
地域支援・地域連携	地域を巻き込んだイベントやボランティア活動を通して、地域との交流を深める。			
移行支援	将来的な移行を見据えた目標や支援内容の設定、及び相談援助や情報提供。 就労系サービスとのコラボ、体験・見学を定期的に行い、実際に働く実感を持っていただく。(お仕事体験)			
主な行事	・ 凧あげ ・ いちご狩り ・ 夏祭り ・ すいか割り ・ 芋ほり・ハロウィンパーティー ・ クリスマス会 ・ 各種季節イベント ・ おでかけ(東山動物園、水族館、科学館等)			